

学校だより NO. 500

令和8年5月29日



品濃

〈横浜の教育がめざす人づくり〉
自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人
〈学校教育目標〉
大好き自分 大好きみんな ともに創る品濃の子
・知 生きて働く知 ・徳 豊かな心 ・体 健やかな体
・公 公共心と社会参画 ・開 未来を拓く志

横浜市立品濃小学校 電話 824-0651 FAX 826-2183
URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinano/>

「思い通りにならない」を保障する

校長 針持 拓郎

余談から始まりますが、本号が学校だよりの通算第 500 号です。品濃小学校の歴史を感じます。本来今回の巻頭言は副校長の順番でしたが、記念号として快く譲っていただきました。

閑話休題。いよいよ「しなリンピック」の取組も大詰めを迎え、30日には保護者の皆様にご覧いただくこととなります。開会宣言前後から約1か月、体育の時間や休み時間、高学年の児童は委員会活動の時間など、様々に準備・練習を重ねてきました。いつ見に行っても思うのは、子どもたちの一生懸命な眼差しと取組の姿勢が素晴らしいなということです。友達同士の励まし合いや称賛の声もたくさん聴かれます。そして、どんどんと上達をしています。子どもたちが取り組んできた成果を、どうぞご覧いただきたいと思います。

さて、このように子どもたちは意欲をもって真剣に取り組んでいますが、運動会を「勝負」という視点で見ると、必ずしもその努力が「勝利」という形で報われるとは限りません。また今までがんばってきたのに、たまたまその日だけ失敗するというようなことがあるかもしれません。時の運もあります。思い通りの結果にならなかった子にとっては、大きく落ち込んだり気持ちが落ち着かなくなったりすることもあるでしょう。では果たしてそれは回避すべきことでしょうか。

以前、一緒に仕事をさせていただいた臨床心理士の方からお話をお伺いしたときに「子どもの成長において『失敗する権利』を奪ってはいけない」とおっしゃられていたのが心に残っています。これはポーランドの医師で教育者のコルチャック氏が提唱した子どもの基本的人権に関わる概念だそうです。短期的にみると失敗することやうまくいかないことはかわいそう、と思ってしまうところもありますが、長期的にみるとそこから学び成長することも多く、過度に先回りして全てお膳立てをしてしまうことは、決して子どものためにはならないということでした。

うまくいかなかったり思い通りの結果が出せなかったりすることは、特に「運動会の当日」という場面では目立つことがあります。しかしそこまで積み重ねてきた練習や、紡いできた仲間との関係は確実に子どもたちの成長の大きな糧となっています。当日の勝敗すら「結果」ではありません。うまくいった経験はもちろん、思い通りにいかなかった経験をもとに考え行動することもまた自己肯定感につながっていくことでしょう。「しなリンピック」を通してよりよい自分、よりよい仲間、よりよい学校づくりを行うことが大切だと考えています。保護者の皆様も、どうぞ「しなリンピック」をご参観いただき、お子様に温かい励ましの言葉をかけていただければ幸いです。



昨年度から引き継がれる聖火の演出にも注目。